

自治協ニュース

第2704号
発行者
八本松小学校区
住民自治協議会
H27. 8. 20

取組紹介 地道な地域の環境整備 町をきれいに「夢拾い」 神社の安全な参道増設



夢ひろいに参加した子供たちと保護者並びに地域の方々
右端が上野代表 左端が門田八本松支部長

夢拾い八本松支部(代表 門田聖子)は8月1日小学生と保護者並びに地域の方等(誰でも参加可能)約20名の有志によるJR八本松駅周辺の沿道の「ゴミ拾い」を実施した。

八本松駅周辺の沿道ゴミ拾い 三年間継続 早朝からがんばる子供たち



ゴミを拾う子供たち
駅前付近486号線の沿道

この活動は3年前の9月から雨天時を除き毎月第1土曜日の朝5時から約1時間 JR八本松駅交差点を経由するミスターマックスから小学校までの沿道を対象に実施されてきた。今回は33回目のゴミ拾いで、特に駅周辺にはたばこの吸い殻が多く、



今回の活動は3年前の9月から雨天時を除き毎月第1土曜日の朝5時から約1時間 JR八本松駅交差点を経由するミスターマックスから小学校までの沿道を対象に実施されてきた。今回は33回目のゴミ拾いで、特に駅周辺にはたばこの吸い殻が多く、



清水川神社 西側参道
急な旧階段と緩やかな新階段

清水川神社責任役員会(代表 中曾孝)は本年6月から12名の役員総出で安全な参道の増設工事を行い7月19日に完成した。清水川神社(八本松東5丁目)は旧下組と向原地区(現在 飯田1丁目、八本松東1〜7丁目、八本松南1〜5丁目)の氏神として従来より地域住民により守られてきた。現在は清水川神社責任役員会を中心に維持管理が行われ、多くの方が参拝されるようになってきた。



新たに増置された参道

しかし、西側の参道の一部に急勾配で危険な箇所があり参拝者が安全通行できる参道の整備が望まれていた。このため、当役員会は旧

安全対策と環境整備 清水川神社 参道増設と鎮守の森整備 責任役員会

清水川神社責任役員会(代表 中曾孝)は本年6月から12名の役員総出で安全な参道の増設工事を行い7月19日に完成した。清水川神社(八本松東5丁目)は旧下組と向原地区(現在 飯田1丁目、八本松東1〜7丁目、八本松南1〜5丁目)の氏神として従来より地域住民により守られてきた。現在は清水川神社責任役員会を中心に維持管理が行われ、多くの方が参拝されるようになってきた。



清水川神社責任役員会の方々

参道を迂回するなどらかな参道を新たに増設することを計画。工事は手作業で抜根や約20mのなだらかな階段作り等 懸命な作業によりわずか2日間で新たな参道を完成した。完成後 役員の方々はこれで祭りや初詣など多くの参拝者のみなさんが安全に通行できるようにになった。今後は鎮守の森の下刈り等の作業を継続し神社周辺の見通しを良くすることで防犯対策にも役立てたいと語った。

子供たち 地域の盆踊りを習う

週5日制対応行事



平成の大合併を記念し作られた「ガンバレ東広島」を舩岡先生(中央)から習う子供たち(この曲は先生自らの作詞)

青少年育成部会は8月1日八本松地域センターで小学校児童を対象に「盆踊りをならおう」と題した盆踊り教室を開催した。練習会場のホールには子供たちと保護者ら約60名が講師の舩岡先生や高橋先生の周りに輪を作り先生の動きを見て上手に踊っていた。習った踊りは5曲で東広島や八本松の文化や地名が歌詞に紹介されている。



「八本松音頭」をシャンと踊る子供たち
子供たちが盆踊りの輪に入るきつかけになればいいな、と始めたの。また、子供たちの故郷を愛する心を育てるためにも継続が必要と語った。

6年前にこの教室の設立に携わった大道前青少年育成部会長は、盆踊りをさらに盛り上げるため、事前に練習して子供たちが盆踊りの輪に入るきつかけになればいいな、と始めたの。また、子供たちの故郷を愛する心を育てるためにも継続が必要と語った。

防犯パトロール隊員に 第3回夜の見回り活動 表彰記念バッジ贈呈

8月1日防犯部

会は今年度3回目の夜の巡回パトロールを17名の地域の防犯隊員の参加を得て実施した。

特に今回は、5月25日の広島県防犯功労団体表彰の受賞を記念して作られた記念バッジを各隊員に授与された後、隊員は7台の青パトで小学校区内のパトロールに向かった。



記念バッジ受け取るパトロール隊員(左)



4種類の記念バッジ

パトロール後の隊員の報告では、パトロールの結果に加え、青少年の喫煙防止指導に粘り強く取り組むなど日頃の地道な活動についても報告され、広島県防犯功労団体表彰にふさわしい取組がなされていた。

防災の備えと意識10か条

1	家屋の耐震診断と耐震補強
2	家具類の転倒防止と落下防止対策
3	地震時の初期消火と出火防止対策
4	けが防止対策に懐中電灯とヘルメット準備
5	津波対策 (避難は徒歩で)
6	地域の危険性を事前把握(防災マップ)
7	家庭での話し合い
8	非常用品の装備
9	防災講演会への参加
10	防災訓練への参加

八本松みなみ地区自主防災会は、7月26日八本松南集会所で防災講演会を開催した。この講演会は住民の方の防災知識を向上させるために開かれたもので、集まった50名の皆さんは生々しい災害の映像と「地獄を経験した」という被災者の壮絶な体験談に注視していた。また、視聴後も率直な疑問や意見が出され、講師の市危機管理課寺脇さんは当地において必ず災害が起きることを意識する必要がある、その場合の避難方法等の対応を日頃から家族内で話し合っておくことが重要と力説した。

大震災の教訓 減災を考える会

テレビが見た皆大震災 八本松若手音楽